



# 飯塚市教育委員会事業評価結果報告書

(平成28年度分)

～飯塚市の未来を担う～

「かしこく」「やさしく」「たかましい」子どもたちの育成

平成29年11月

飯塚市教育委員会

# 目 次

I	はじめに	・・・・・・・・・・ P 1
II	飯塚市教育委員会について	・・・・・・・・・・ P 1
III	教育委員の活動状況	・・・・・・・・・・ P 2
	(1) 教育委員会会議	
	(2) 研修会等への参加状況	
IV	平成28年度事務事業評価	・・・・・・・・・・ P 5
	1 点検・評価について	
	(1) 点検・評価する事務の対象	
	(2) 点検・評価の方法	
	(3) 結果の取扱い	
	2 全体評価結果	
	(1) 全体集計結果	・・・・・・・・・・ P 5
	(2) 外部評価講評	・・・・・・・・・・ P 6
	3 取組み施策別評価結果	
	(1) 学校教育	・・・・・・・・・・ P 8
	(2) 社会教育	・・・・・・・・・・ P 11
	(3) 事務事業に係る点検・評価シート一覧表	・・・・・・・・・・ P 14
	(4) 点検・評価シート（各課提出）	・・・・・・・・・・ P 15
●	参考資料	
	平成28年度教育委員会会議議決及び報告事項一覧	・・・・・・・・・・ P 29

＜本報告書作成にあたり外部評価いただいた方々＞

福岡教育大学教授	井上 豊久
福岡教育大学講師	森山 一昌

## I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすために、平成 28 年度の飯塚市教育委員会に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 飯塚市教育委員会について

### 【組織、構成】

都道府県及び市町村等に置かれる行政機関のひとつで、教育長及び 4 人の教育委員をもって組織される合議制の執行機関であり、学校教育、生涯学習、文化等に関する事務を担当しています。

### 【教育長の任命】

市長の被選挙権を有するもので、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するものうちから、市長が議会の同意を得て任命し、その任期は 3 年で、再任できることとなっています。

### 【教育委員の任命】

市長の被選挙権を有するもので、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものうちから、市長が議会の同意を得て任命し、その任期は 4 年で、補欠委員の任期は前任者の残任期間となります。また、委員は再任できることとなっています。

### 【運営等】

教育委員会は、大局的な見地から教育行政の基本的方針を決定し、その方針決定を受け、教育長が事務局を指揮監督して具体的な事務を執行する仕組みとなっています。

### 【飯塚市の教育委員会】

職名	氏名	現在の任期
教育長	西 大輔	平成 29 年 4 月 1 日～32 年 3 月 31 日
委員(教育長職務代理者)	上田 敬子	平成 28 年 5 月 17 日～32 年 5 月 16 日
委員	大隈 恵子	平成 26 年 5 月 17 日～30 年 5 月 16 日
委員	高石 双樹	平成 27 年 5 月 17 日～31 年 5 月 16 日
委員	安永 卓生	平成 29 年 5 月 17 日～33 年 5 月 16 日

### Ⅲ 教育委員の活動状況

#### 1 教育委員会会議

教育委員会会議は、毎月1回の「定例会」と教育長が必要と認めたとき等に開催する「臨時会」からなっており、付議案件及び懸案事項などの審議を行い、教育行政の方針等を決定しています。

#### 【平成28年度開催状況等】

- ① 開催回数：12回（うち定例会12回）
- ② 付議件数等：議決事項・・・69件 ※「参考資料」参照  
報告事項・・・47件 ※「参考資料」参照
- ③ 主な付議案件
  - 飯塚市心身障がい児（生）就学指導委員会規則の一部を改正する規則
  - 飯塚市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則
  - 平成28年度飯塚市奨学資金貸付審議会に係る諮問及び答申（補助執行事務）について
  - 臨時代理の承認（契約の締結(仮称)飯塚市立鎮西小中学校建設(1工区～5工区)工事)
  - 幸袋小学校及び目尾小学校の統合並びに楽市小学校及び平恒小学校の統合
  - 飯塚市立小学校設置条例の一部を改正する条例
  - 飯塚市教育職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
  - 飯塚市教育研究所条例の一部を改正する条例
  - 飯塚市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則
  - 飯塚市指定有形民俗文化財の指定（曩祖八幡宮の黒田二十四騎図絵馬）
  - 飯塚市学校運営協議会委員の任命

etc

#### 2 研修会等への参加状況

教育委員会会議以外にも、公式行事への参加、学校の訪問・意見交換会、他市町教育委員との合同研修会など、様々な活動を行っています。以下は、主に教育委員会事務局に案内や参加依頼があった案件のみ記載していますが、これ以外にも地域における様々な各種行事等へ参加しています。

#### ◇会議・研修会等への出席

時期	名称	概要
平成28年4月	飯塚市立小・中学校管理職 春季研修会	「音・ことばの大切さ」、「ビジネスマンが考えている教育への思い」についての講話
	福岡県市町村教育委員会 委員長・教育長会議	福岡県教育行政の主要施策について及び総会
	飯塚市子ども祭	イイヅカコスモスコモン前広場で開催された行事

5月	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所管内の教育行政に係る諸問題についての協議
	平成 28 年度福岡県学校警察連絡協議会総会及び研修会	総会及び「少年非行の現状と課題」「暴走族の情勢について」「少年鑑別所法に基づく地域援助業務」についての研修等
6月	第 35 回飯塚新人音楽コンクール本選	ピアノ部門、声楽部門
	サニーバール中高生等来飯歓送迎会	来飯した米国カリフォルニア州のサニーバール市の中高生との交流事業等
7月	同和問題啓発月間街頭啓発	イオン穂波ショッピングセンターに於いて来店者への街頭啓発活動
	平成 28 年度筑豊市町村教育委員会連絡協議会総会	総会及び「子どもたちに必要とされる学力」についての研修会等
	長崎街道筑前六宿連携事業子どもサミット	旧宿場町のまちづくり団体や関係市と連携し長崎街道の PR、郷土の歴史文化に関する研究活動報告や地域に伝わる伝統芸能披露
	飯塚市中心市街地活性化協議会	飯塚市商店街連合会、まちづくり会社等と連携を図り、基本計画における活性化事業の推進協議
8月	飯塚市立小・中学校管理職夏季研修会 人権・同和教育実践交流会	「人権・同和教育の視点に基づく教育活動」の実践発表研修及び「学校における人権・同和教育に望むこと」についての講話等
	福岡県市町村教育委員会教育長研修会	「学力向上に向けて教育委員会に期待すること」についての講演及び各部会での研究討議
	飯塚市中学生議会 2016	10 校の中学校生徒会が連携・協働し、「人口減少を食い止め、飯塚市を盛り上げるための方策」などを考え、中学生の視点から市への質疑、要望、提案を行い飯塚中学生決議が採択された。
9月	サイエンスモール in 飯塚 2016	総合科学の祭典、地元の高校や大学、企業などが 36 の体験ブースを設置
	第 41 回飯塚少年剣道大会	小学生の部及び中学生の部による個人戦・団体戦
10月	更生保護女性連盟筑豊ブロック研修会	「子どもたちの姿と心～立ち直り支援の現場から～」についての講話等
	飯塚地区暴力追放・安全・安心まちづくり住民総決起大会	飯塚地区から暴力団を排除していくことの承認、福岡県安全・安心まちづくりアドバイザーの講演及び市中パレードを行う
	平成 28 年度筑豊市町村教育委員会教育長協議会	「飯塚市立菰田小学校」の公開授業視察及び同校の学力・体力向上の取組説明

11月	いっづか小学生の討論会	市内 22 小学校の代表 22 名による、テーマ「先生」についての討論会
	第 1 回総合教育会議	協議・調整事項 議題：「教育行政について」 議題：「グローバルな人材育成を目指して」
平成 29 年 1 月	飯塚市成人式	「志ら川太鼓」による和太鼓演奏、九州昭武館による剣詩舞の演技など
	飯塚市立小・中学校管理職 冬季研修会	「小中一貫校幸袋校の取り組みについて」の実践発表、「私の生き方～人生万事塞翁が馬～」について講演
	飯塚市小中学校 PTA 連合会 教育講演会	思春期の子ども達へエールを！自分の可能性を開花させるために「ミュージカル ハロー天使です」
2 月	平成 28 年度飯塚市教育研究所 研究発表会	教育研究所の研究員 5 名の研究発表会、筑豊教育事務所指導主事の助言指導等

◇学校訪問・行事等への出席

時 期	名 称	概 要
平成 28 年 4 月	小学校・中学校入学式	市立小学校 22 校 市立中学校 10 校
平成 28 年 4 月 ～平成 29 年 3 月	定例校長会	円滑な学校運営を図るために、様々な教育課題について協議
平成 28 年 6 月 、11 月	学校開放日	市立小学校 22 校・中学校 10 校で実施される公開授業の視察
平成 28 年 10 月	学校訪問	鎮西中学校など各小中学校を訪問、授業視察等を踏まえ学校運営等についての意見交換
平成 28 年 10 月 ～平成 29 年 2 月	研究指定・委嘱校研究発表会	鯉田小学校など各小中学校を訪問、実践的な取り組み等の研究発表会の視察
平成 29 年 3 月	小学校・中学校卒業式	市立小学校 22 校 市立中学校 10 校

## IV 平成28年度事務事業評価

### 1 点検・評価について

#### (1) 点検・評価する事務の対象

飯塚市教育施策要綱に掲げる主要施策を達成するために取り組んだ、主な事業を対象としています。

#### (2) 点検・評価の方法

(1)に係る事業ごとに、必要性、効率性、公平性の観点からその達成度について、それぞれの所管課・部署が自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者の方々に外部評価をいただきました。

外部評価については、教育に関し学識経験を有する者で、公正な意見を述べることを期待できる人を想定し、教育系大学の教授と講師、計2名の方に評価をいただきました。また、事業ごとに評価者と各所管課との間でヒアリングを実施し、各事業の達成度や成果等について意見聴取を行いました。

この点検・評価においては、事業ごとにその達成度・成果等に応じて、評価者2名の合議のもと、A（達成している）、B（概ね達成している）、C（課題がある）、D（事業見直しが必要）で評価しています。

#### (3) 結果の取扱い

評価の高い事業は引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に、事業の見直しについても検討していきます。

### 2 全体評価結果

#### (1) 全体集計結果

飯塚市教育施策要綱に掲げた主要施策を達成するために、平成28年度に実施した事務事業の中で、事業の必要性や継続性等の観点から学校教育分野で5事業、社会教育分野で5事業の計10事務事業の選定を行い、平成29年8月31日（木）ヒアリングを実施し外部評価者より評価をいただきました。

その結果、目標達成度は次の表のとおり、「A 達成している」が7事業で70%、「B 概ね達成している」が3事業で30%、「C 課題がある」、「D 事業見直しが必要」は0事業でした。

《評価結果集計表》

( ) 内は率

評価 区分	A 達成	B 概ね達成	C 課題がある	D 要事業見直し	全 体
学校教育	3	2	0	0	5
社会教育	4	1	0	0	5
計	7 (70%)	3 (30%)	(-)	(-)	10 (100%)

## (2) 外部評価講評

□福岡教育大学教授 井上 豊久

平成 28 年度に実施された 10 事業について聞き取りを含めて検討し、評価を行った。学校教育・社会教育各 5 事業、合計 10 事業中で「達成」7 件、「概ね達成」3 件と「達成」が昨年度よりも 2 件増えている。全体的に適切な実施であったと評価できる。以下、分析・考察を提示する。

学校教育に関して、「小中一貫教育推進体制の確立」は各中学校ブロックでコーディネーターを中心としたプランに基づいて取組がなされ、成果が期待されるが、地域との連携のさらなる充実が必要であろう。「徹底反復学習の実施」では各学校の学力向上コーディネーター研修など丁寧になされてきている。今後は学力向上へ一層工夫し、子どもがさらに主体的に学んでいく態度の育成が求められよう。「教育研究所事業の推進」では協調学習研究など成果が明確にみられるようになったことは評価できる。検証・改善を行い、共有化させていくことが求められよう。「通級指導教室の支援」に関しては 3 校では独自に進められているが、今後もさらに取組が必要とされ発達障がい教育に関して先進地の有効事例を参考にしながら、セルフアドボカシーの観点に立って拡充に取り組んでいくことも必要であろう。「事業運営の安定化及び効率化に向けた給食調理業務の民間委託実施」は自校方式整備から民間委託が、全体としては着実になされているが、さらなる地産地消や食育充実の力量形成のためのより適切な研究・研修が求められる。

社会教育に関して、「放課後子ども教室事業の実施」では多様なプログラムが児童クラブとの連携も含め着実に実施されている。参加の多様化に向け、子どもの貧困や教育格差などにかかわり、地域、家庭、団体等とのさらなる協働が求められよう。「生涯学習ボランティアネットワーク事業の実施」では多くの人々の積極的参加も評価できるが、フォロー調査やさらなる活躍の場の充実が求められよう。「学校及び地域との連携の推進」では従来からの公民館の充実により協力が効果的になされているが、コミュニティスクールの拡充も視野に入れ、市民参画の視点から主体的な組織・地域づくりを基本としたさらなる協働の拡充が求められる。「乳幼児から高齢者・障がいのある方など、幅広い図書館利用の促進」は様々に工夫した事業が実施されてきている。今後はさらなる事業の充実に加え、福祉団体や NPO との一層の連携が必要であろう。「歴史講座、古文書講座、体験学習等の開催」では参加者も多く的確に実施されたことは評価できる。今後はさらなる内容・方法の充実ため学校教育との協働や市民参画手法を取り入れていくことが求められる。

平成 28 年度に実施された学校教育分野の 5 事業と社会教育分野の 5 事業についてヒアリングを中心に評価を行いました。合計 10 事業中「達成している」7 件、「概ね達成している」3 件でした。どの事業も問題はなく適切に実施されたと思われます。以下、それぞれの事業について評価の概要を述べます。

学校教育分野について、「小中一貫教育推進体制の確立」では小中一貫教育コーディネーター研修会の在り方と他中学校区との取組の成果と課題を基に自校及び中学校区で小中一貫教育の改善に生かしている各学校の意欲的な取組は評価できます。今後は、「一貫教育 9 年間活動プラン」の成果を広く保護者・地域に発信することにも努めてほしいと思います。「徹底反復学習の実施」については、飯塚市の児童生徒の学力が年々向上していることから「徹底反復学習」の成果が出ているものと思われます。今後は、「徹底反復学習がすべてではない」という共通認識に立って様々な取組を行い、「教育先進地域」としてふさわしい学力の向上に努めてほしいと思います。「教育研究所事業の推進」では、協調学習（知識構成型ジグソー法）に焦点を当てた研究は全国的に数少ない価値ある研究所の取組です。今後はその成果を各学校の授業改善に生かしていく必要があります。「通級指導教室の支援」では、障がいのある子どもの理解や指導方法を深めるための教員の研修が充実していることは評価できます。今後は、相談体制や巡回指導等の充実が必要です。「事業運営の安定化及び効率化に向けた給食調理業務の民間委託実施」自校方式給食調理場の整備が完了した学校の民間委託は計画的に進められています。児童生徒の心身の健全な発達のため、今後も学校給食法の基準を遵守するとともに異物混入等がない適切な運営を期待します。

社会教育分野について、「放課後子ども教室事業の実施」では、子どもの安全・安心な居場所づくりの取組は評価できます。関係各課との連携をさらに充実させ児童や保護者が満足する事業の充実が求められます。「生涯学習ボランティアネットワーク事業の実施」では地域人材を活用した取組は評価できます。今後は事業内容の広報や市内外の大学との連携も求められます。「学校及び地域との関係の推進」では、長く継続し定着している地域イベントの企画運営や支援を各地区公民館が行っていることは評価できます。今後も協働のまちづくりが展開できるよう、さらなる地域・行政・学校等の協力・連携が求められます。「乳幼児から高齢者・障がいのある方など、幅広い図書館利用の促進」では、図書館利用に繋げるための「ブックスタート事業」や講座などの取組は評価できます。図書館離れや読書離れが進んでいる状況の中、読書活動を推進するには学校等との協力・連携が求められます。「歴史講座、古文書講座、体験学習等の開催」では、飯塚市歴史資料館の 35 年間の実績をふまえ、様々な教育普及活動が実施されていることは評価できます。今後さらに市民のニーズに合った事業が展開されることを期待します。



## ☆学力の向上

学力向上のため、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成を図ります。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
2	徹底反復学習の実施	学校教育課	<p>児童生徒の学力向上のため、各小中学校の学力向上コーディネーターを対象とした徹底反復学習の研修会を行い、全 32 校で徹底反復学習を実施されている。また、「学力向上モデル校」4校(小学校 2 校、中学校 2 校)を指定し、このモデル校で全小中学校学力向上コーディネーターを含めた研修会も実施されている。事業等の目標値は達成しており、一定の評価はできるが目標値をさらに具体的にすることが求められる。児童生徒の学力においては、昨年度よりも向上しているものの全国学力学習状況調査では、まだ成果が充分とはいえないところもあり、各学校での検証・改善が求められる。</p> <p>今後も、継続した事業の充実により、教員の指導力の向上とともに子ども達の育成に努めて頂きたい。</p>	B

## ☆教職員の資質向上

教職員の効果的な配置改善や研修、支援体制の充実を図り、教職員の資質向上に努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
3	教育研究所事業（研究員制度、研修会実施等）の推進	学校教育課	<p>5名の教職員が研究所員となり、小中学校における協調学習の更なる充実・発展を実現させるため、研修を積み、単元開発・授業実践を重ねることで研究所員個々の資質向上に繋げている。研究発表会や研究論文の発信など、事業の目標は達成されており評価できるが、今後は研修の満足度などの調査も必要と考える。</p> <p>協調学習になぜ取り組むのかという目的意識を明確化し、市内小・中学校において実施される研修会や授業研究での実践的研究により教員のスキル向上と協働体制を推進し、教育の充実振興に努めて頂きたい。</p>	B

## ☆特別支援教育の充実

特別支援教育の改善・充実を図ります。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
4	通級指導教室（発達障がいのある児童生徒対象）の支援	学校教育課	<p>通級指導教室は高田小、飯塚小、飯塚第一中の3校開設されている。</p> <p>事業の周知においては、学校、保護者への文書配布、及びスクールカウンセラーの授業参観による助言など、子ども達や家庭等に対する働きかけにより周知が図られている。また、特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会においては、障がいのある子どもの理解を深めるとともに指導方法についても学習されており、理解の広がりや支援の充実において非常に評価できる。</p> <p>今後も、児童生徒の状況に応じた相談体制や支援の充実を図り、当該事業の継続・拡充に努めてほしい。</p>	A

## ☆学校給食の充実

学校給食の実施に関する衛生管理の徹底や地産地消の推進等により安全・安心な給食の提供に努めるとともに、献立内容の工夫・改善や給食指導の充実等により食育を推進します。

また、飯塚市学校給食運営基本方針に基づく自校方式給食調理場の整備を進めるとともに、給食調理業務の民間委託を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
5	事業運営の安定化及び効率化に向けた給食調理業務の民間委託実施	学校給食課	<p>給食センター受配校は、自校方式給食調理場の整備が完了した学校から順次、民間委託を実施されている。</p> <p>計画通り進められており、平成28年度末現在、全30校中、センター受配校4校、自校方式校26校、そのうち17校の民間委託が実施されている。民間委託導入後においては食材に関する地産地消に向けた取組みの更なる充実を期待する。</p> <p>教育委員会は、児童生徒の心身の健全な発達と学校における食育の推進のため、今後も学校給食法に定める基準を遵守して適切な運営に努めて頂きたい。</p>	A

## (2) 社会教育

### ☆情報提供や様々な学びの機会の提供

ライフステージに応じた学びの機会や情報の提供等により、学習意欲を喚起するとともに、様々な事業の推進と充実を図ります。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
6	放課後子ども教室事業の実施	生涯学習課	<p>児童の学習に対する意欲向上や基本的な生活習慣の習得を図るために、学校や公民館施設等で多様な体験を取り入れた様々なプログラムが実施されている。また、児童クラブと連携した実施により活動の場が広がり「子どもの安全・安心な居場所づくり」の取組が推進されていることは評価できる。参加者数の目標値設定については、児童数減少の状況を考慮した設定に見直すことが必要である。また、事業に対する保護者及び児童の反応や意見、満足度等を調査することも必要と思われる。</p> <p>今後、全ての子どもたちを対象とした“学びの場の提供”の事業拡大に向けては、解決すべき課題の把握に努め、行政組織間での連携体制を確立し事業の充実に努めてほしい。</p>	A

### ☆学習成果を還元する活動等の支援

学習成果を発表する機会を増やすことで学習意欲を高め、相互の連携・連鎖による地域の「連帯感」が強固となるよう支援します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
7	生涯学習ボランティアネットワーク事業の実施	生涯学習課	<p>自分の学習成果や特技・能力などをボランティアとして生かしたいという地域住民や大学生を登録し、社会教育・学校教育の各分野において行われる学習活動、体験活動の充実を図ることを目的として、小学校や児童クラブ、保育所等に派遣している。派遣人数、派遣先対象人数ともに目標値以上を達成しており、地域住民にボランティアとしての活動の場を広げ、生きがいに寄与していることは評価できる。派遣が少ないとされる学校等については、引続き事業説明や登録者の紹介を行い派遣機会の拡充に努めて頂きたい。</p> <p>併せて新たな登録者の確保や他のボランティア団体との連携を図られることを期待する。</p>	A

## ☆地域コミュニティの推進

地区公民館を拠点とした地域コミュニティの構築を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
8	学校及び地域との連携の推進	生涯学習課	<p>各地区公民館は、地域団体等が主催する事業の事務局等として積極的に、住民運動会やどんど焼き祭り、夏祭りなどに関わり、企画運営の支援及び連携を図っている。</p> <p>来場者数も増加しており、今後も地域コミュニティの構築のために、地域の特性や市民ニーズ等を的確に把握し、地域と行政がよきパートナーとして協働のまちづくりが展開できるような組織づくり等に継続して尽力してほしい。</p>	A

## ☆読書活動の推進

本との出会い、読書の楽しさを伝えるため、指定管理者・図書館ボランティアと連携・協力して読書活動を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
9	乳幼児から高齢者・障がいのある方など、幅広い図書館利用の促進	生涯学習課	<p>地域の教育施設として、乳幼児から高齢者・障がいのある方など、幅広い図書館利用の促進に繋げるため、様々な事業を企画し、毎月発行の図書館だよりや学校等へのPRなど啓発活動の取組みが実施されている。</p> <p>乳幼児においては、4ヶ月健診時の「ブックスタート事業」の開催が定着しており、9割を超える配布の成果は親子の絆の大切さを伝えるなど読書振興に貢献されている。高齢者や障がいのある方などを含め全ての市民の利用増への取組みは評価できるが、医療機関との連携や特別支援学級からの要望対応は継続が必要である。目標値未達成には検証・改善が必要であるが、新規登録者数は、目標値の変更も必要と思われる。</p> <p>現在は情報技術の活用によりそれぞれが自分で情報収集する方法が多様にあり、読書離れが進む傾向がある。</p> <p>このようなことから今後、図書館の情報提供能力を向上させるため、専門的な知識や情報を有する関係機関・団体に働きかけ、双方にメリットのある協力・連携した事業展開を図られることを期待する。</p>	B

## ☆文化財保護思想の普及啓発

歴史と伝統に培われた貴重な文化資源を永く後世に伝えるため、文化財保護活動の充実や情報提供等、文化財に対する理解を深める施策を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評 価
10	歴史講座、古文書講座、体験学習等の開催	文化課	<p>飯塚市歴史資料館は、昭和 56 年に開館され平成 28 年で 35 周年を迎えており、これまでの来館者数は述べ 50 万人を超えている。当館では考古資料その他の文化財の収集・調査・保存・活用をはじめ、様々な講座など、教育普及活動を実施し、郷土の歴史・文化財に対する市民の理解と認識を深め、市民の文化活動、生涯学習活動に寄与されている。取組状況においては、飯塚市史刊行を記念して市史の内容をわかりやすく紹介する「市史発刊記念講座」や小中学生を対象とする、昔の道具作りなどを行う「歴史体験講座」など、飯塚の歴史に興味を持ってもらおうと工夫された取組みは、歴史学習に興味をもつことができる魅力的なもので、受講者数も目標値を大きく上回っており評価できる。</p> <p>今後、専門的な知識を有する関係団体と連携し、市民のニーズに合わせて更に充実した事業展開を期待したい。</p>	A

事務事業に係る点検・評価シート一覧表（平成28年度実施）

区分	シートNo.	取組み施策等
学校教育	1	小中一貫教育推進体制の確立
	2	徹底反復学習の実施
	3	教育研究所事業(研究員制度、研修会実施等)の推進
	4	通級指導教室(発達障がいのある児童生徒対象)の支援
	5	事業運営の安定化及び効率化に向けた給食調理業務の民間委託実施
社会教育	6	放課後子ども教室事業の実施
	7	生涯学習ボランティアネットワーク事業の実施
	8	学校及び地域との連携の推進
	9	乳幼児から高齢者・障がいのある方など、幅広い図書館利用の促進
	10	歴史講座、古文書講座、体験学習等の開催

## 点検及び評価シート

No. 1

対象年度	28年度	所管課名	学校教育課
1 区 分	学校教育		
2 主要施策	<p>【1. 小中一貫教育の推進】</p> <p>中学校区を単位として義務教育 9 年間を見通した小中一貫教育を推進するため、一貫性と連続性のある学習指導や生徒指導を行うとともに、地域と連携しながら特色ある教育活動を展開します。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	小中一貫教育推進体制の確立	
	(2)事業等の内容	<p>本市の教育課題の解決のため、中学校区を単位とした小中一貫教育を行い、9年間を見通した教育活動を地域と連携しながら進めていく。そこで、各中学校区の特色を生かした小中一貫教育の推進を支援する施策を講じ、本市における小中一貫教育の普及発展に資することを目的としている。</p>	
	(3)事業等の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育コーディネーター研修会の開催～年間2回</li> <li>・各中学校校区部会の開催回数～40回（10校区×4回）</li> </ul>	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>小中一貫教育コーディネーター研修会を7月と2月に開催した。各中学校校区では、校区部会の開催により、9年間の学習系統表の作成、社会性の育成を図るSEL－8Sの系統的な取組、先進地視察の報告・交流会、家庭啓発通信の作成配布、出前授業や中学校体験授業等が実施された。</p> <p>【成果】</p> <p>研修会において実践発表を行ったことで、小中一貫教育コーディネーターが他中学校区の取組の成果と課題を基に、自校及び中学校区での小中一貫教育の取組の改善にいかすことができた。各中学校区では、小中一貫教育コーディネーターを中心とした推進体制が確立されてきており、「小中一貫9年間活動プラン」を作成し、小中一貫教育の充実が図られている。</p> <p>【目標値との対比】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育コーディネーター研修会の開催～年間2回 (目標値に対して100%)</li> <li>・各中学校校区部会の開催回数～50回 (目標値に対して125%)</li> </ul>		

<p>5 取組・事業の課題、 今後の方向性など</p>	<p>小中一貫教育コーディネーターを中心として校区部会の充実が図られ、小中一貫教育が推進されてきた。</p> <p>平成 30 年度は、一貫校 2 校が開校し、市内で小中一貫校が 4 校となる。それぞれの特色をいかした小中一貫教育の更なる推進が図られ、モデルとなる取組を各中学校区から発信していくことが求められる。</p> <p>今後、計画的な校区部会の開催による学校間の更なる連携強化を図っていくとともに、コーディネーターを核とした中学校区間の日常的な情報交換による取組の共有、研修会における実践交流の実施等を行い、小中一貫教育推進体制の確立を図る。</p>
---------------------------------	--

## 点検及び評価シート

No. 2

対象年度	28年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	<p>【2. 学力の向上】</p> <p>学力向上のため、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成を図ります。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	徹底反復学習の実施	
	(2)事業等の内容	児童生徒の学力向上のために、基礎・基本の学力の習得を目的とする「徹底反復学習」において、学校全体の組織的な推進体制づくりの支援及び教員の指導力の向上を図る。	
	(3)事業等の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底反復学習を実施した校数～全小中学校32校</li> <li>・学力向上検証委員会の実施～年間3回</li> </ul>	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全小・中学校の学力向上コーディネーターを対象とした徹底反復学習の研修会を行い、すべての小中学校で徹底反復学習を実施した。</li> <li>・小学校2校、中学校2校を「学力向上モデル校」として指定し、講師招聘による研修会を実施すると共に学力向上検証委員会を年4回実施した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月に実施した諸調査（小学校：全国標準学力検査 NRT〈国語、算数〉、中学校：標準・学力分析検査〈国語、数学〉）において、小学校は昨年度より1.2ポイント、中学校は2.5ポイント向上が見られた。</li> <li>・「学力向上モデル校」小学校2校、中学校2校の上記学力調査において、小学校は0.7ポイント、中学校は5.6ポイント向上が見られた。</li> <li>・</li> </ul> <p>【目標値との対比】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底反復学習を実施した校数～全小中学校32校 (目標値に対し100%実施)</li> <li>・学力向上検証委員会の開催回数～年間4回 (目標値に対し125%)</li> </ul> <p>→基礎・基本の学力を見取る諸テストの結果が、市内全小中学校及び学力向上モデル校においてともに向上した。</p>		

<p>5 取組・事業の課題、今後の方向性など</p>	<p>取組の結果、飯塚市の児童生徒の学力は年々向上し、平成28年度の各種調査の結果を見ると、小学校では、全国標準学力検査NRT（国語、算数）において、概ね全国平均以上の成績となっており、また、中学校においても、標準・学力分析検査（国語、数学）において、県平均を上回る結果を残している。しかし、「第2次飯塚市総合計画」に掲げている数値目標には届いておらず、今後も継続して本事業を実施することにより「教育先進地域」としてふさわしい更なる学力の向上を図っていく必要がある。</p>
----------------------------	---

## 点検及び評価シート

No. 3

対象年度	28年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【9. 教職員の資質向上】 教職員の効果的な配置改善や研修、支援体制の充実を図り、教職員の資質向上に努めます。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	教育研究所事業(研究員制度、研修会実施等)の推進	
	(2)事業等の内容	市の実情に即した今日的教育課題を分析研究し、情報提供するとともに教育実践などの奨励事業を推進し、教職員等の資質の向上、教育の充実振興を図る。	
	(3)事業等の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月の中間発表に向けた研修の実施～7回</li> <li>・ 2月の研究発表に向けた研修の実施～4回</li> <li>・ 知識構成型ジグソー法による協調学習の単元開発・授業実践～10単元</li> </ul>	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>小学校4名・中学校1名の計5名の教職員が研究所員となり、協調学習による授業づくりの実践研究を行った。10月の中間発表会に向けた研修、2月の研究発表会に向けた研修を経ながら、各学校で協調学習による単元開発・授業実践に取り組み、その成果を研究論文にまとめ市内の各小中学校に向けて発信した。</p> <p>【成果】</p> <p>本市の主要な教育施策である協調学習について研究を進め、その成果について各小中学校に普及することにより、教職員等の資質の向上を図ることができた。また、28年度の研究員1名が本市の協調学習についての指導者的立場である「協調学習エキスパート教員」となっている。</p> <p>【目標値との対比】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月の中間発表に向けた研修の実施～7回 (目標値に対し100%)</li> <li>・ 2月の研究発表に向けた研修の実施～4回 (目標値に対し100%)</li> <li>・ 知識構成型ジグソー法による協調学習の単元開発・授業実践～10単元 (目標値に対し100%)</li> </ul> <p>研修を積み、単元開発・授業実践を重ねることで、研究所員個々の資質が向上した。また、研究発表会を通して各学校の今後の授業実践の参考となる成果物を残すことができた。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	ICTを活用した「協調学習」にかかわる実践をまとめ研究を深める。		

## 点検及び評価シート

No. 4

対象年度	28年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【11. 特別支援教育の充実】 特別支援教育の改善・充実に図ります。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	通級指導教室(発達障がいのある児童生徒対象)の支援	
	(2)事業等の内容	<p>○通級指導教室の周知 通級指導教室の手引き及び保護者向けリーフレットを配布し、教職員や保護者に対して発達障がい（LD、ADHD）の児童生徒を対象とした通級指導教室開設の周知を図る。</p> <p>○特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会 障がいのある児童生徒及び特別支援教育についての理解を深め、特別支援学級担任、通級指導教室担当者としての指導力の向上を図るための研修会を実施する。</p>	
	(3)事業等の目標値	特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会の参加数 ～特別支援学級担任・通級指導教室担当者全員	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>○通級指導教室の周知 4月の校長会議において、通級指導教室の手引を配付するとともに、保護者向けリーフレット及び通級指導教室入級手続きに関する文書の配布依頼を行った。</p> <p>○特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会 11月に福岡教育センター特別支援教育班指導主事を講師として、「発達障がい、知的障がいのある子どもの理解と指導」についての研修会を実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>○通級指導教室の周知 平成28年度の1年間で、新たに小学校10名、中学校3名の児童生徒が入級した。</p> <p>○特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会 発達障がいや知的障がいのある子どもの理解を深めるとともに具体的な指導方法を学ぶことができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>・特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会の参加者数 担任・担当者全60人中58名参加（2人欠席） (目標値に対し97%)</p>		

<p>5 取組・事業の課題、 今後の方向性など</p>	<p><b>【課題】</b></p> <p>通級指導担当者は、その役割から特別支援教育、特に発達障がいに関する専門的な知識と技能及び指導力を有する必要がある、将来を見据えた人材確保・人材育成が必要である。</p> <p>また、現在は、保護者が通級指導教室のある学校までの送迎を行うことが前提となっており、それができない場合は入級ができない。今後は、巡回指導等多様な方策を検討する必要がある。</p>
---------------------------------	---

## 点検及び評価シート

No. 5

対象年度	28年度	所管課名	学校給食課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	<p>【8. 学校給食の充実】</p> <p>学校給食の実施に関する衛生管理の徹底や地産地消の推進等により安全・安心な給食の提供に努めるとともに、献立内容の工夫・改善や給食指導の充実等により食育を推進します。</p> <p>また、飯塚市学校給食運営基本方針に基づく自校方式給食調理場の整備を進めるとともに、給食調理業務の民間委託を推進します。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	事業運営の安定化及び効率化に向けた給食調理業務の民間委託実施	
	(2)事業等の内容	給食調理業務については、民間活力を導入することにより、コストの削減はもとより、安全衛生管理面の徹底、給食施設設備の効率的な運用を図り、より充実した安全・安心な学校給食を将来にわたって安定的に提供する。	
	(3)事業等の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理業務民間委託業者選考の実施</li> <li>新規1件（小中一貫校幸袋校）</li> <li>更新1件（菰田小・片島小）</li> </ul>	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>本市における給食調理業務の民間委託は、平成18年度から庄内中学校、平成21年度から庄内小学校で実施し、平成24年度以降、給食センター受配校は、自校方式給食調理場の整備が完了した学校から順次、民間委託を実施している。</p> <p>なお、委託業者の決定にあたっては、経歴や経営状況、価格だけでなく、業務遂行能力や学校との連携など、学校給食に対する理解や業務に対する意欲、資質及び技術能力等総合的に優れた事業者を選定するため、プロポーザル方式により選考している。</p> <p>【成果】</p> <p>平成28年度は自校方式給食調理場整備が完了した小中一貫校幸袋校と、委託契約期間が満了する菰田小・片島小の委託業者の選考を実施した。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>計画通り、新規1件、更新1件の委託業者選考を実施した。</p> <p>※平成29年4月1日現在、小中学校30校中、センター受配校4校、自校方式校26校（内、民間委託施設数は17施設）</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	調理場整備完了後においても、直営の自校方式校が8校残る見込み。今後、市業務職員の在職状況を基に段階的に民間委託への移行を実施する必要がある。		

## 点検及び評価シート

No. 6

対象年度	28年度	所管課名	生涯学習課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	<p>【1. 情報提供や様々な学びの機会の提供】</p> <p>ライフステージに応じた学びの機会や情報の提供等により、学習意欲を喚起するとともに、様々な事業の推進と充実を図ります。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	放課後子ども教室事業の実施	
	(2)事業等の内容	<p>学校の放課後や週末等に小学校の余裕教室や公民館施設等を活用し、各学校・地域との連携により、優しさや積極性・協調性といった社会性を身につけ、「生きる力」をもった子どもの育成を支援する。更に地域社会の課題となっている「子どもの安全・安心な居場所づくり」を推進する。</p>	
	(3)事業等の目標値	年間開催数 1,600 回、参加者数 24,000 人	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>児童の学習に対する意欲の向上や基本的な生活習慣の習得等を図るために、平日の放課後及び土曜日の週 2 日、学校や公民館施設等でニュースポーツ、ものづくり、英会話、カルタ、書道、そろばん、料理、体力アップ講座など、様々な体験・交流・学習プログラムを実施した。</p> <p>また、児童クラブと連携した合同プログラム（朗唱）を実施している。</p> <p>【成果】</p> <p>平成 27 年度と比較し、実施回数は 34 回（1 校区あたり 1～2 回）減少したが、総参加者数は 3,855 名の増加となった。また、児童クラブとの連携を行っていく上で、連携を行う時間・実施場所・活動内容等について相互に調整を行い、その中で児童クラブとの協力体制の下地を構築でき、児童クラブと連携した合同プログラム実施を推進することができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>参加者数達成率 99.46%（実績 23,870 名／目標 24,000 名）</p> <p>年間開催数達成率 73.63%（実績 1,178 回／目標 1,600 回）</p> <p>※参考 平成 27 年度実績 参加者数 20,015 名、実施回数 1,212 回</p>		

<p>5 取組・事業の課題、 今後の方向性など</p>	<p><b>【課題】</b></p> <p>平成 27 年度 3 学期より先行して旧 4 町（穂波・筑穂・庄内・穎田）の 10 ヶ所の放課後子ども教室で児童クラブとの連携事業を行っており、平成 28 年度は実施可能な 21 校区中 17 校区で実施している状況である。実施する中で新たに出てきた課題を放課後子ども教室及び児童クラブと共有しながら、平成 29 年度からの市内全放課後子ども教室及び児童クラブとの連携事業実施をスムーズに行っていく必要がある。</p> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <p>放課後子ども教室と放課後児童クラブの関係者同士で定期的に協議を行い、活動内容や協力体制、実施時の課題等について協議し、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう事業を推進する。</p>
---------------------------------	---

## 点検及び評価シート

No. 7

対象年度	28年度	所管課名	生涯学習課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	<p>【4. 学習成果を還元する活動等の支援】</p> <p>学習成果を発表する機会を増やすことで学習意欲を高め、相互の連携・連鎖による地域の「連帯感」が強固となるよう支援します。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	生涯学習ボランティアネットワーク事業の実施	
	(2)事業等の内容	<p>社会教育や学校教育の分野において学習活動、体験活動の充実を図ることを目的として、小学校や児童クラブ、保育所等からの要請に応じてボランティア登録者を派遣する。このことで、市民への学習機会の提供や学習活動を支援するとともに、地域コミュニティの活性化を促し、「住民による住民のためのボランティア活動」を推進する。</p>	
	(3)事業等の目標値	ボランティア派遣人数 2,400 人、派遣先対象人数 46,000 人	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>派遣先に対し事業説明や登録者の紹介（名簿配布等）を行い、またボランティア向けの研修会を行い、ボランティアの登録や活用を促し、派遣の増加を図った。</p> <p>【成果】</p> <p>平成 27 年度と比較し、派遣人数は 172 名、派遣先対象人数は 5,560 名の増加となった。学校教育、社会教育との連携により、地域住民にボランティアとしての活動の場を広げ、生きがいに寄与している。また事業を通して、社会教育ならびに学校教育の各分野における教育水準の向上、生涯学習の推進に貢献している。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>派遣人数達成率 104.29%（実績：2,503 名／目標 2,400 名）  派遣先対象人数達成率 109.56%（実績：50,402 名／目標 46,000 名）  ※参考 平成 27 年度実績 派遣人数 2,331 名、派遣先対象人数 44,842 名</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>【課題】</p> <p>派遣先により派遣件数の偏りがあり、予算不足による補正をしたので、全市に派遣の機会を拡充させる必要はあるが全体数は調整していく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>関係団体から提出される年間活用計画書を精査し、派遣件数の調整を行い、事業を実施する。</p>		

## 点検及び評価シート

No. 8

対象年度	28年度	所管課名	生涯学習課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	<p>【6. 地域コミュニティの推進】</p> <p>地区公民館を拠点とした地域コミュニティの構築を推進します。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	学校及び地域との連携の推進	
	(2)事業等の内容	<p>学校及び地域との連携については、各種イベントを通した中で連携をはかっている。地域団体等が主催する事業として、住民運動会、公民館まつり、どんど焼き祭り、ちくほ夏祭り等、学校とも連携しながら地域の事業を行っている。どの事業も地域の特色を生かし、長く継続し定着しているイベントとして、地域にとってはなくてはならないものとして認識されている。</p>	
	(3)事業等の目標値	来場者数 15,000人	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内12地区公民館の内、8地区（二瀬、幸袋、鎮西、菰田、立岩、飯塚東、飯塚、鯉田）において、住民運動会を実施。</li> <li>・市内12地区公民館の内、全地区で、公民館まつり又は文化祭を実施</li> <li>・市内12地区公民館の内、4地区（鎮西、飯塚東、鯉田、穎田）において、地域住民の安全安心を願って1月上旬に、どんど焼き祭りの実施。</li> <li>・筑穂地区において、8月に福岡県のへそ（福岡県の重心地）にちなんだ「へそダンスコンテスト」を始め、ステージイベントや子どもみこし、バザー出店等、「ちくほ夏祭り」の実施</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>地域住民が一同に集う貴重な機会となっており、地域住民の連帯感や帰属意識の醸成が図られている。また、まちづくりの観点から、活動のプロセスとして必要な集い・交流・啓発といった役割を担っていることが、安心安全な環境づくりや地域の問題解決、新たな創造に向けた多様な活動と事業展開に繋がっている。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>28年度目標値 15,000人に対し実績 24,960人、達成率 166.4%</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>各地区にまちづくり協議会が設置され、まちづくり協議会が中心となり実施されている。地域イベントとしての認識を高めるため、今後は更に、地域・行政・学校等が協働で関わっていくことが望まれる。</p>		

## 点検及び評価シート

No. 9

対象年度	28年度	所管課名	生涯学習課																	
1 区分	社会教育																			
2 主要施策	<p>【7. 読書活動の推進】</p> <p>本との出会い、読書の楽しさを伝えるため、指定管理者・図書館ボランティアと連携・協力して読書活動を推進します。</p>																			
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	乳幼児から高齢者・障がいのある方など、幅広い図書館利用の促進																		
	(2)事業等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯塚市立図書館が中心となり、4カ月健診時に4カ月児と保護者を対象に「ブックスタート事業」の開催。</li> <li>・飯塚・ちくほ・庄内館で図書館利用を促すため、「布の絵本制作講座」「絵本を作る」「タッチケア」「親子で楽しむカラーセラピー講座」の4講座の開催。「布の絵本制作講座」には女性高齢者の方々も一緒に参加している。</li> <li>・子ども読書クイズ大会の実施。</li> <li>・「バリアフリー映画の映写会」の実施</li> </ul>																		
	(3)事業等の目標値	各種講座を通して図書館利用の促進																		
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>各種事業・講座については、図書館利用促進に繋がる内容を検討しながら、市報・図書館HP・新聞掲載依頼等により周知を図っている。</p> <p>【成果】</p> <p>資料の貸出以外の事業にも重点を置き業務を行っている。まちづくり協議会や医療機関との連携事業で図書館の活用、利用促進に繋げているが、前年度と比べると、登録者数、貸出人数及び貸出冊数は減少している。</p> <p>【目標値との対比】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間新規登録者数</td> <td>2,950</td> <td>1,808</td> <td>1,749</td> </tr> <tr> <td>年間貸出人数</td> <td>165,000</td> <td>147,727</td> <td>139,177</td> </tr> <tr> <td>年間貸出冊数</td> <td>620,000</td> <td>622,695</td> <td>588,927</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	27年度	28年度	年間新規登録者数	2,950	1,808	1,749	年間貸出人数	165,000	147,727	139,177	年間貸出冊数	620,000	622,695	588,927
	目標値	27年度	28年度																	
年間新規登録者数	2,950	1,808	1,749																	
年間貸出人数	165,000	147,727	139,177																	
年間貸出冊数	620,000	622,695	588,927																	
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も広報や学校等へのPR活動により利用促進を図り、休館日の試行的変更による利用状況の検証を実施したい。</li> <li>・「飯塚市認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク協力団体」への登録</li> <li>・筆談ボード、コミュニケーションボードの常備</li> </ul>																			

## 点検及び評価シート

No. 10

対象年度	28年度	所管課名	文化課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	<p>【9. 文化財保護思想の普及啓発】</p> <p>歴史と伝統に培われた貴重な文化資源を永く後世に伝えるため、文化財保護活動の充実や情報提供等、文化財に対する理解を深める施策を推進します。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	歴史講座、古文書講座、体験学習等の開催	
	(2)事業等の内容	飯塚市歴史資料館では、郷土の歴史・文化財に対する市民の理解と認識を深め、市民の文化活動、生涯学習に寄与することを目的として、考古資料その他の文化財の収集・調査・保存・活用、講座（歴史講座、古文書講座、おもしろ体験歴史館）等教育普及活動を実施している。	
	(3)事業等の目標値	講座受講者数を前年度（延べ373人）より3%増加	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>平成28年3月に新しい『飯塚市史』が刊行されたことを記念して、市史の内容をわかりやすく紹介する『飯塚市史』発刊記念講座（講義10回、バスハイク1回）を実施した他、古文書講座（講義6回）、おもしろ体験歴史館（小中学生対象の歴史体験講座、3回）を実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>『飯塚市史』発刊記念講座、古文書講座、おもしろ体験歴史館を予定どおり実施し、前年度より受講者数が増加した。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>目標値（講座受講者数延べ384人）を上回る延べ670人の受講者があった。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	今後も入館者のニーズに合った講座等を実施するとともに、広報活動を積極的に行い、文化財保護の普及啓発に努める。		

## 参考資料

### 1 平成 28 年度 教育委員会会議付議議案等一覧

#### (1) 教育委員会会議付議案件

件 名	提出日
平成 28 年度飯塚市教育施策要綱(継続審議)	H28.4.13
飯塚市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H28.4.13
飯塚市学校運営協議会委員の任命	H28.4.13
県指定史跡の変更(川島古墳)	H28.4.13
平成 28 年度飯塚市教育施策要綱(継続審議)	H28.5.20
平成 28 年度教育費に係る補正予算	H28.5.20
飯塚市立学校管理規則の一部を改正する規則	H28.5.20
飯塚市学校運営協議会委員の任命	H28.5.20
飯塚市いじめ・不登校問題連絡協議会委員の委嘱又は任命	H28.5.20
飯塚市通学区域審議会委員の委嘱又は任命	H28.5.20
財産の取得(教育用情報機器一式)	H28.5.20
飯塚市給食運営審議会委員の委嘱又は任命	H28.5.20
飯塚市給食運営審議会臨時委員の委嘱又は任命	H28.5.20
飯塚市図書館運営協議会委員の任命	H28.5.20
飯塚市社会教育委員の委嘱	H28.5.20
飯塚市中心身障がい児(生)就学指導委員会委員の委嘱又は任命	H28.6.8
契約の締結((仮称)飯塚市立穂波東小中学校建設(4 工区)工事)	H28.6.8
契約の締結(旧平恒小学校大規模改造(その 1)工事)	H28.6.8
契約の締結(旧平恒小学校大規模改造(その 2)工事)	H28.6.8
飯塚市公民館運営審議会委員の委嘱	H28.6.8
飯塚市図書館運営協議会委員の任命	H28.6.8
飯塚市文化財保護審議会委員の委嘱	H28.6.8
飯塚市中心身障がい児(生)就学指導委員会規則の一部を改正する規則	H28.7.20
飯塚市中心身障がい児(生)就学指導委員会委員の委嘱	H28.7.20
飯塚市給食運営審議会委員の委嘱又は任命	H28.7.20
飯塚市社会教育委員の委嘱	H28.7.20
飯塚市歴史資料館運営協議会委員の委嘱	H28.7.20
平成 28 年度教育費に係る補正予算	H28.8.22
飯塚市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則	H28.8.22
飯塚市図書館運営協議会委員の任命	H28.8.22
飯塚市公民館運営審議会委員の委嘱	H28.8.22
指定管理者の指定(飯塚市文化会館)	H28.8.22
臨時代理の承認(契約の締結(仮称)飯塚市立鎮西小中学校建設(1 工区)工事)	H28.9.26
臨時代理の承認(契約の締結(仮称)飯塚市立鎮西小中学校建設(2 工区)工事)	H28.9.26
臨時代理の承認(契約の締結(仮称)飯塚市立鎮西小中学校建設(3 工区)工事)	H28.9.26
臨時代理の承認(契約の締結(仮称)飯塚市立鎮西小中学校建設(4 工区)工事)	H28.9.26
臨時代理の承認(契約の締結(仮称)飯塚市立鎮西小中学校建設(5 工区)工事)	H28.9.26

臨時代理の承認(契約の締結(仮称)飯塚市立鎮西小中学校建設(校舎棟・電気設備)工事)	H28.9.26
臨時代理の承認(契約の締結(仮称)飯塚市立鎮西小中学校建設(体育館棟・電気設備)工事)	H28.9.26
臨時代理の承認(契約の締結(仮称)飯塚市立鎮西小中学校建設(体育館棟・給排水衛生設備)工事)	H28.9.26
訴えの提起(飯塚東小学校敷の所有権確認請求)	H28.10.24
訴えの提起(八木山小学校敷の所有権確認請求)	H28.10.24
訴えの提起(立岩小学校敷の所有権移転登記手続請求)	H28.10.24
訴えの提起(菰田小学校敷の所有権移転登記手続請求)	H28.10.24
訴えの提起(伊岐須小学校敷の所有権移転登記手続請求)	H28.10.24
訴えの提起(八木山小学校敷の所有権移転登記手続請求)	H28.10.24
訴えの提起(二瀬中学校敷の所有権移転登記手続請求)	H28.10.24
訴えの提起(鎮西中学校敷の所有権移転登記手続請求)	H28.10.24
飯塚市学校運営協議会委員の任命	H28.10.24
飯塚市立学校特認校制度実施要綱の一部を改正する告示	H28.10.24
幸袋小学校及び目尾小学校の統合並びに楽市小学校及び平恒小学校の統合	H28.10.24
飯塚市立小学校設置条例の一部を改正する条例	H28.10.24
平成 28 年度教育費に係る補正予算	H28.11.14
飯塚市教育委員会事業評価結果(平成 27 年度分)	H28.11.14
飯塚市教育職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	H28.11.14
飯塚市給食運営審議会臨時委員の委嘱又は任命	H28.11.14
臨時代理の承認(平成 28 年度教育費に係る補正予算要求)	H28.12.22
飯塚市教育委員会公印規則の一部を改正する規則	H29.1.18
飯塚市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則	H29.1.18
飯塚市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則	H29.1.18
飯塚市立学校管理規則の一部を改正する規則	H29.1.18
平成 28 年度教育費に係る補正予算	H29.2.8
平成 29 年度教育費に係る当初予算	H29.2.8
飯塚市教育委員会事務局設置規則の一部を改正する規則	H29.2.8
飯塚市教育研究所条例の一部を改正する条例	H29.2.8
飯塚市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H29.3.13
飯塚市子ども読書活動推進計画(改訂版)の策定	H29.3.13
飯塚市指定有形文化財の指定(忠隈 1 号墳出土品)	H29.3.13
飯塚市指定有形民俗文化財の指定(曩祖八幡宮の黒田二十四騎図絵馬)	H29.3.13

## (2) 教育委員会会議報告案件

件 名	提出日
飯塚市教育施策の大綱について	H28.4.13
平成 28 年第 1 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H28.4.13
飯塚市若年者専修学校等技能習得資金貸与条例の一部を改正する条例の制定(補助執行事務)について	H28.4.13

平成 28 年度学校開放日、運動会・体育会及び修学旅行の日程等について	H28.4.13
飯塚市立体駐車場及び飯塚文化会館駐車場の料金設定変更(試験的運用)について	H28.4.13
小中一貫校建設工事の進捗状況について	H28.5.20
幸袋中学校区小中一貫教育校開校に伴う校章及び校歌に関する報告書について	H28.5.20
平成 28 年度飯塚市中学生海外研修事業について	H28.5.20
サニーベール市との友好交流について	H28.6.8
平成 28 年度飯塚市奨学資金貸付審議会に係る諮問及び答申(補助執行事務)について	H28.6.8
小中一貫校等建設工事の進捗状況について	H28.6.8
第 35 回飯塚市新人音楽コンクール(予選)について	H28.6.8
第 35 回飯塚市新人音楽コンクール(本選)について	H28.7.20
立岩小学校運動場等整備工事請負契約の締結について	H28.7.20
平成 28 年度学校開放日の結果について	H28.7.20
学校給食調理等業務の受託候補者特定について	H28.7.20
小中一貫校建設工事等の進捗状況について	H28.7.20
第 37 回飯塚市少年の船事業について	H28.7.20
第 37 回飯塚市少年の船事業本研修の実施報告について	H28.8.22
飯塚市文化会館の指定管理者に係る指定候補者の答申について	H28.8.22
小中一貫校建設工事等の進捗状況について	H28.9.26
平成 28 年度中学生海外研修事業の実施報告について	H28.9.26
平成 28 年第 4 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H28.10.24
立岩小学校運動場等整備工事請負契約の締結について	H28.10.24
飯塚市立飯塚第一中学校通学定期券助成金交付要綱の廃止(補助執行事務)について	H28.10.24
小中一貫校等建設工事の進捗状況について	H28.10.24
サイエンスモール in 飯塚 2016 の実施報告について	H28.10.24
飯塚市文化振興マスタープランの策定について(答申)	H28.10.24
小中一貫校等建設工事の進捗状況について	H28.11.14
飯塚市文化振興審議会委員の委嘱(補助執行事務)について	H28.11.14
飯塚市文化振興マスタープラン策定について	H28.11.14
立岩小学校運動場等整備工事に係る変更契約の締結について	H28.12.22
平成 28 年度学校開放日の結果報告について	H28.12.22
穂波東中学校区小中一貫教育校開校に伴う校章に関する報告書について	H28.12.22
平成 28 年第 5 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H29.1.18
小中一貫校等建設工事の進捗状況について	H29.1.18
穂波東中学校区小中一貫教育校開校に伴う校歌に関する報告書について	H29.1.18
平成 28 年度飯塚市成人式の結果報告について	H29.1.18
飯塚市教育委員会教育長職務代理者の指名について	H29.2.8
心身障がい児(生)の就学等について	H29.2.8
学校給食調理等業務の受託候補者特定について	H29.2.8
飯塚市学校給食体験イベントの開催結果について	H29.2.8
平成 28 年度学校開放日、運動会・体育会及び修学旅行の日程等について	H28.4.13
飯塚市立体駐車場及び飯塚文化会館駐車場の料金設定変更(試験的運用)について	H28.4.13

飯塚市立小中一貫校幸袋校・幸袋児童センター落成式について	H29.2.8
要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表について	H29.3.13
小中一貫校建設工事進捗状況等について	H29.3.13
飯塚市立小中一貫校幸袋校・幸袋児童センター落成式の開催結果について	H29.3.13
指定管理施設の評価の答申について	H29.3.13